

目 次

第1章 調査目的及び調査内容	1
1.1 本調査の目的	1
1.2 本調査の内容及び構成	1
第2章 道路交通センサスの概要と課題	3
2.1 道路交通センサスの概要	3
2.2 道路交通センサスの変遷	4
2.3 平成11年度道路交通センサスの調査内容	8
2.4 道路交通センサスの課題・問題点	11
第3章 道路交通センサス個別調査の課題と改善の方向性	12
3.1 個別調査についての課題及び改善の方向性（総括整理）	12
3.2 交通量調査に係る課題と改善の方向性	16
3.2.1 交通量調査	16
3.2.2 市町村道の調査	26
3.2.3 調査日と調査期間	31
3.2.4 歩行者・自転車交通量の観測	34
3.2.5 交通容量の算定	39
3.3 旅行速度調査に係る課題と改善の方向性	51
3.4 自動車起終点調査に係る課題と改善の方向性	61
3.4.1 オーナーインタビューOD調査	61
3.4.2 路側OD調査	74
3.4.3 休日OD調査	85
3.4.4 時間帯別ODの把握	94

3.5	道路状況調査に係る課題と改善の方向性	97
3.6	駐車調査・路上駐車調査について	102
第4章	道路交通センサスの改善に向けて	104
4.1	現行の道路交通センサス調査体系における改善の方向性	104
4.1.1	一般交通量調査（道路状況調査・交通量調査・旅行速度調査）について	104
4.1.2	自動車起終点調査について	107
4.2	道路交通センサスの新たな調査体系（案）	108

表 目 次

表

2-2-1	道路交通センサスの変遷（昭和 55 年度調査以降）	5
3-1-1	現行の道路交通センサスをベースとした改善の方向性（案）	13
3-2-1	交通量調査の経緯	16
3-2-2	車種区分の推移	17
3-2-3	簡易トラフィックカウンターによる計測の長所と問題点	19
3-2-4	車種区分の統合	20
3-2-5	観測統合区間数	23
3-2-6	道路種別別の整備状況（平成 11 年 4 月）	26
3-2-7	市町村道の交通特性（昭和 49 年度）	28
3-2-8	幹線市町村道での必要調査箇所数	29
3-2-9	歩行者交通量の推移（全国，道路種別別）	36
3-2-10	自転車交通量の推移（全国，道路種別別）	37
3-2-11	容量修正係数（昭和 63 年度に設定）	43
3-2-12	容量算定に関する各地方整備局へのヒアリング結果	45
3-3-1	IT を活用した交通データ収集実験に関する取り組み事例	58
3-4-1	世帯抽出・事業所抽出とした場合の長所及び問題点	62
3-4-2	OD 調査のパイロット調査の概要	62
3-4-3	主な調査方法と調査特性	63
3-4-4	郵送方式による回収率（昭和 55 年度 OD 調査）	64
3-4-5	郵送配布・回収の長所と問題点	64
3-4-6	マークシート方式に変更した際の長所及び問題点	65
3-4-7	オーナーインタビュー OD 調査の調査項目の推移	66
3-4-8	有効調査台数と抽出率	69
3-4-9	東京都における訪問・回収状況	70
3-4-10	調査不能票の内訳の例	72
3-4-11	路側 OD 調査地点数の推移	75
3-4-12	路側 OD 調査の調査項目の推移	75
3-4-13	路側 OD 調査実施に伴う問題点（調査担当事務所等へのアンケート結果）	76
3-4-14	路側 OD 調査対象交通〔単位：台/日〕（平成 6 年度調査）	77

3-4-15	道路交通センサス OD 調査での調査費用（平成6年度調査）	78
3-4-16	交通混雑が発生するような地建（当時）際交通量の例（平成6年度調査）	78
3-4-17	路側 OD 調査断面の評価	80
3-4-18	路側交通量とオーナーインタビュー OD 調査で把握されるサンプルトリップ数 （平成6年度調査）	82
3-4-19	オーナーインタビュー OD 調査の抽出率（平成6年度調査）	82
3-4-20	OD 集計用マスターのレイアウト	83
3-4-21	休日 OD 調査データを有効活用するための補足検討案	87
3-4-22	休日 OD データの活用案	88
3-4-23	トリップ回数分布表（年度別平休比較）	90
3-4-24	平均走行キロ分布（年度別平休比較）	91
3-5-1	道路状況調査の調査項目一覧表	98
4-2-1	調査項目の見直しにあたっての切り口の例	113

目 次

図

2-1-1	道路交通センサスの概要（平成 11 年度）	3
2-3-1	平成 11 年度道路交通センサス調査体系	8
3-2-1	簡易トラフィックカウンターの設置のイメージ（日光都市圏の例）	19
3-2-2	車両感知器による車種分類計測と人手観測による計測の比較	21
3-2-3	歩行者交通の分布イメージ	34
3-2-4	12 時間平均歩行者交通量の推移（全国）	36
3-2-5	12 時間平均自転車交通量の推移（全国）	37
3-2-6	容量算定手法の経緯	39
3-2-7	区間の交通容量の見直し方法（昭和 63 年作業）について	42
3-3-1	旅行速度の計測方法イメージ	53
3-3-2	旅行速度調査原票	54
3-3-3	旅行速度調査原票の記入例	55
3-3-4	旅行速度マスターファイルのデータレイアウト	56
3-4-1	平成 11 年度路側 OD 調査の実施必要性が高いコードンライン	81
3-4-2	平成 11 年度路側 OD 調査を実際に実施したコードンライン	81
3-4-3	休日交通を考慮した道路計画の必要性	86
3-4-4	走行台キロの比較	90
3-4-5	平均トリップ回数の比較	90
3-4-6	走行台キロ・旅行速度の比較	91
3-4-7	調査票に記入されたトリップの所要時間別頻度の分布	95
4-2-1	道路交通センサスを例とした交通調査の新たな考え方（案）	109